



環境の観点から望ましい立地とは？

課題

都市におけるアロットメントガーデンの立地は、ガーデン自体にも利用者の健康にも影響を及ぼす。大抵は住宅地や、使われていないエリアの暫定的な用地に立地しているものだが、そこが騒々しい環境と住宅地の間の緩衝帯となっていることも多い。アーバンガーデンの設置場所を選ぶときには、健康増進や栄養的に望ましい食料が得られるといった付随的効果がもたらせるよう、環境的に安全な場所を選ぶべきである。

このファクトシートでは、環境や人間の健康に及ぼすリスクをどのように避けるか検討し、立地選択において意思決定する際に有効な指標について考える。

健康になることを望み、体に良いたくさんの収穫物を得たいと思っているガーデナーは、過去の土地利用も参考にしつつ、周辺の土地利用が現在のガーデン（あるいは将来的にできるガーデン）に与える影響がどんなものか判断するためのヒントを得られる。

政策立案者（自治体や都市計画家等）で生態系サービスや社会の一体性を高めるような安全な環境にガーデンを設置したいと考える人は、環境的な観点からプロジェクトを支援する方法についてのヒントを得られる。



図2 - バーミンガム・エディブル・イーストサイド。以前はイギリスの工業地帯であった場所。写真: Susan Noori



図3 - ドイツ・フライジングでの河川氾濫。写真: Annette Voigt

ガーデナーへのアドバイス

立地を考えるうえで重要なことは何か？

福利

- 利用者の近隣の、徒歩や自転車、公共交通機関で簡単に行ける場所であるとよいでしょう。
- 道具もすぐ使えるところに備えられるよう考慮しましょう。
- 簡単に移動できない人も、容易にたどり着けるような場所にしましょう。
- ガーデンは楽しく安全でなければいけません: うるさすぎず、河川が氾濫することもないこと。共用のエリアがあり、日照と日陰のバランスがよいこと。破壊行動がなく、作業の際に怪我の危険がないこと。そしてみんなに公開されていることが大事です。

豊富で体に良い収穫物

- 土壌は肥沃でなければいけません: 酸性か塩基性か、砂質すぎないか粘土質すぎないか(適度な保水性)、有機養分が豊富な土壌か、考慮に入れましょう。
- 水が得られる場所があるとよいでしょう。
- 以下の条件のとき、あなたの野菜は良いものとなるでしょう。1) 野菜の成長に十分な養分があるとき、2) 農薬不使用のとき、3) 土壌汚染がないとき。

できることは？

- 近隣地域を訪れ、住民と話しましょう。
- ブラウンフィールド(汚染されている、または、汚染の恐れがある土地)や放棄された地域は避けましょう。
- ガーデナーになりそうな人たちがいる地域を見つけましょう。

- 簡単にアクセスできる場所にするため、自転車道だけでなく公共交通機関のネットワークも分析しましょう。
- ゆるやかなスロープを設置したり、階段を避けたりなど、バリアフリーのアクセス環境を整えましょう。
- ガーデンの候補地を訪れ、騒音や(交通や産業の観点からの)汚染源、氾濫原から可能な限り遠いところを選びましょう。
- 異なる時間帯に訪れて、区画の日照環境を評価しましょう。
- 以前の土地利用と現状への影響に関する情報を得ましょう。市役所が騒音地図や土地利用、汚染評価などの関連情報を提供している場合があります。
- 土壌汚染の評価のため、市販されている簡素な土壌検査キットを使うか、環境の専門家の助けを得ましょう。
- 井戸の有無や水路へのアクセス、雨水貯蔵の可能性を確認しましょう。
- 土壌改良の必要性和可能性を確かめましょう。

関連情報

参考文献

Voigt, A. & Leitão, T. E. (2016): Lessons learned: indicators and good practice for an environmentally-friendly urban garden. – In: Bell, S. et al. (Eds.): Urban Allotment Gardens in Europe. Routledge: 165-197.

Hursthouse, A. & Leitão T.E., (2016): Environmental pressures on and the status of urban allotments. – In: Bell, S. et al. (Eds.): Urban Allotment Gardens in Europe. Routledge: 142-164

Alloway, B. J. (2004). Contamination of soils in domestic gardens and allotments: a brief overview. *Land Contamination and Reclamation*, 12(3).

Charlesworth, S., De Miguel, E. A. and Ordoñez, A. (2011). A review of the distribution of particulate trace elements in urban terrestrial environments and its application to considerations of risk. *Environmental Geochemical Health* 33: 103-123.



図4 – インフラの近くにある自然発生的なガーデン(ポルトガル、リスボン)。写真: Teresa Leitão



図5 – 風から守られているガーデンと共有エリア(フランス、クエロン)。写真: Béatrice Béchet

政策立案者向けの情報

どうやってプロジェクトを支援するか? リスクのない土地とは?

- 土地の履歴(従前の土地利用)を考慮し、作物への汚染や怪我のリスクだけでなく、土壌や水質の汚染のリスクを測るため、基礎的な地質学の知識を活用しましょう。
- 近隣にある産業やインフラからの現在の影響を評価しましょう。
- 自然災害のリスクがないところを選びましょう。
- 野菜や花を育てるのに適切な土壌の区画を提供しましょう。

生態系に良い影響をもたらす可能性について

- 都市におけるアロットメントガーデンは都市の緑のネットワークや緑地帯を創出したり拡大したりすることで、生態系を豊かにします。
- 生物多様性も高める可能性があります。

情報や助言はどこで得られるか?

- 地質調査や従前の産業についてのデータベースを参照しましょう。
- 騒音や、大気汚染、土壌汚染の可能性を評価するため、騒音や風の地理情報を参照しましょう。
- リスクマップを使い、排水や氾濫の可能性を評価しましょう。
- もし土壌の質に疑問があるときは、土壌汚染調査や土壌養分基本診断(構造、pH、有機物、電気伝導性、全リン・窒素に関するもの)を委託しましょう。

- 水は必要不可欠です: 飲用水が使えるか確認し、もしだめなら井戸水の水質が基準に達するか検査しましょう。
- 土壌汚染のリスクがあるときは、屋上やレイズドベッドの活用、あるいは土壌の入れ替えを考えましょう。
- 既存の緑地や湿地と連結する場所を選びましょう。
- ガーデンを一般のレクリエーションのために公開しましょう。
- ガーデンを都市開発計画のなかに取り込み(つまり静穏区域、グリーンベルトなどのなかを組み込む)、生態系の安定性を保障しましょう。
- 生態系の観点から将来性がある場所を選びましょう: 森林の有無、湿地や水路への近接性、動物や固有の植物の既存生息地を考慮するとよいです。

関連情報

役立つリンク集

- <http://www.urbanallotments.eu/>
- <http://urbangardenguide.com/>
- http://www.foodsecuritynews.com/Publications/Community_Garden_Best_Practices_Toolkit.pdf

事例紹介

フランス・ナントにあるカポディーナ・パルクやポルトガル・リスボンにあるパルク・ホルティコラ・ダ・グランハは「ガーデンパーク (parc potager)」の概念を体現する良い事例である。ガーデナーや他の市民と一緒に収穫物や余暇(遊び場やピクニックエリア、芝生…)をシェアできる。カポディーナ・パルク(公的な緑地)の一部として、カポディーナ・アロットメントガーデンが年間を通して生活の重要な場となっているたとえば、音楽イベントや学識者のグループの組織が利用している)。

著者

Béatrice Bechet, IFSTTAR, France

Teresa E. Leitão, LNEC, Portugal

Annette Voigt, AAU, Austria

¹corresponding author: beatrice.bechet@ifsttar.fr

翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimpo), 筑波大学, shimpo@nenv.jp

インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日

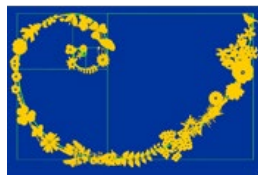


COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は
欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。
その使命は科学的および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、
それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

www.cost.eu



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」
の成果にもとづいて作成されました。

www.urbanallotments.eu



「欧州のアーバングーデン」に参加しましょう:

<https://www.facebook.com/groups/825421310826607/>